

## 陳 思勤

知的基盤総合センター・特任准教授（常勤）

### 【研究】

今年度では、まず国際商取引学会 2021 年度オンライン全国大会において、「他人の氏名を含む商標の無断出願—中国法の現状と課題—」をテーマとした個別報告を行った（2021 年 11 月 5 日（土）、オンラインにて）。また、学会報告における質疑・議論、及び査読意見を踏まえて加筆修正した論文を、学会の年報に投稿した。

次に、中国重慶工商大学法学院において、「日本法における有名人の氏名等が有する商業的価値の保護 —最高裁ピンク・レディー事件判決を素材として—」をテーマとした報告を行った（2021 年 11 月 30 日（火）、オンラインにて）。

そして、Iprism 研究会において、「電子商取引における知的財産権侵害と EC プラットフォームの責任 —中国型「ノーティス・アンド・テークダウン」ルールを中心に—」をテーマとした報告を行った（2022 年 3 月 29 日、オンラインにて）。

### 【教育】

・今年度では新カリキュラムへの移行に伴い、担当する講義「意匠法」と「知的財産関係条約」の一部内容の更新や新たな内容の追加などを行った。また、新たに担当する講義「不正競争防止法」では、関連する重要判例を網羅的に取り上げ、同法の主要な条文の解釈上の問題と現状を詳細に検討している。

- ・留学生のサポート役として、留学生の学習支援などを行った。
- ・「総合演習（アジア知的財産法）」の中国法部分を担当した。

### 【管理運営】

- ・評価委員会の委員長として、部局の年度計画に沿って、部局年度計画達成状況を確認し、評価書類を作成し、評価委員会による評価の資料にあてた。
- ・留学生教育委員会の委員長として、留学生に勉学・研究上のサポートを行った。
- ・中之島センター委員会の委員として、高等副プログラムを周知させるための説明会をオンラインにて計 3 回行った。

### 【社会貢献】

中国重慶工商大学法学院において、「日本法における有名人の氏名等が有する商業的価値の保護 —最高裁ピンク・レディー事件判決を素材として—」をテーマとした公開講義を行った。